

経営支援(経営改善)の事例

支援先企業の概要

業種	建設業(住宅建築)	創業後年数	10年
----	-----------	-------	-----

経営支援前の企業の状況

支援先(以下、当社)は、創業年以来の赤字による累積損失により債務超過に陥っている。前期の決算状況についても、大手ハウスメーカーの攻勢により受注が減少し赤字を計上しており、受注の確保と採算性を見極めが喫緊の課題となっている。

経営支援概要<自金庫の施策>

当社の財務内容の説明のため自金庫で財務資料を作成し、当社の現状について顧客との共通認識を醸成した。その上で、当社の現状を経営者自らが見つめ直すべくSWOT分析を実施し、そこから経営課題の抽出を行った。

また、債務超過の解消に向けて、5か年の数値目標を策定した。

経営支援概要<当該企業の施策>

資材発注元(サッシ、水周り)との価格交渉を行い、発注先を絞り込むことで、原価を大幅にカットした。

また、住宅の面積と内装をパッケージとして商品化(標準化)することで、顧客に対し迅速な価格提示を行っている。

経営支援後の企業の状況

SWOT分析により、代表者が自社の現状を把握し原価意識を持つことで、これまでにはない原価低減に向けた活動が見られるようになった。また、当社では、以前から完成後内覧会を行っているが、内覧会に訪れた見込み先に迅速な価格提示ができるようになり、成約件数が増加している。

債務者区分遷移

支援前	要注意先	支援後	要注意先
-----	------	-----	------

経営改善・事業再生の支援先として選定した理由、方法、再生可能性の見極めポイント等

債務超過状態に陥っているが、当社の施工技術には地元で根強い人気があり、代表者自身が経営改善に向けた強い意欲をもっていることから、支援先として選定した。当社は、経営改善に向けた途上ではあるが、代表者自身が創意工夫を行っており、その効果が徐々に現れている。

経営支援が成功したポイントおよび苦勞した点

1. 成功のポイント

財務上の問題点について共通認識がもてたこと。

2. 苦勞したこと

原価管理、計数計画の理解を促すこと。

自金庫が担った役割

財務に関する情報を提供し、現状の問題点・課題を明確にして、改善への動機付け、相談業務を通じて促した。

経営支援(経営改善)の事例

支援先企業の概要

業種	建設業(硝子サッシ施工)	創業後年数	30年
----	--------------	-------	-----

経営支援前の企業の状況

支援先(以下、当社)は、売掛金及び棚卸資産に不良資産を抱えており、実質債務超過の状況にある。

当社の取扱品目である硝子サッシについては、ホームセンター、ハウスメーカー等流通形態の多様化により、顧客の購入形態も多様化している。また、2重硝子扉等、特殊技術を必要とする製品については、メーカーでのフルライン加工が常態化しており、以前のように施工業者での加工・組立による付加価値の創出が難しい状況にある。当社でもこうした外部環境の影響を受け、硝子サッシの施工のみでは収益を計上しにくい状況となっている。

経営支援概要<自金庫の施策>

当社の財務内容の説明のため当金庫で財務資料を作成し、当社の現状について支援先に対する説明を行った。その上で、代表者の今後の展望についてヒアリングを行い、経営環境分析を行った。

特に、売掛金・棚卸しの状況について、改善の必要性を訴えけるとともに、経営者が希望している新事業を実施する上での留意点についての助言を行った。

経営支援概要<当該企業の施策>

現状の売掛金の回転期間の短縮すべく、代表者自らが売掛金の回収努力を行っている。

また、支援先として訪問する以前より、新たな収益源を確保すべく既存顧客に対する新サービスを模索していたが、具体的な活動を実施している。

経営支援後の企業の状況

現状の売掛金の回転期間の短縮すべく、これまでのような杜撰な管理方式から早期化へ向けた努力が見られるようになった。また、新たな収益源を確保すべく既存顧客に対する新サービスを展開しており、代表者の思いが具体化しつつある。

債務者区分遷移

支援前	破綻懸念先	支援後	破綻懸念先
-----	-------	-----	-------

経営改善・事業再生の支援先として選定した理由、方法、再生可能性の見極めポイント等

当社は代表者の人柄により、地元で根強いファン層を抱えており、サッシ施工の他にも引き合いがあり受注増加に向けて期待が持てる。

経営支援が成功したポイントおよび苦労した点

1. 成功のポイント

代表者自身が経営に前向きであること。

2. 苦労したこと

原価管理、計数計画の理解を促すこと。代表者の新事業に向けた思いと経営改善への方向づけの両立。

自金庫が担った役割

新事業に対する代表者の思いをまとめ提示し、実現のための基盤整備(資金繰り計画、売掛金の回収)を提案した。